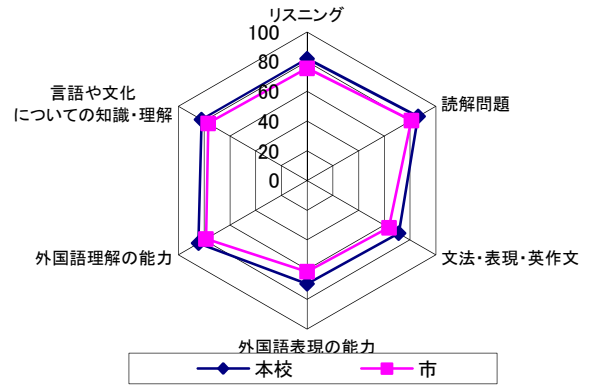


# 宇都宮市立豊郷中学校 第3学年【英語】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	リスニング	82.0	75.5
	読解問題	86.2	80.9
	文法・表現・英作文	71.2	63.5
観点別	外国語表現の能力	69.6	61.4
	外国語理解の能力	84.5	78.7
	言語や文化についての知識・理解	82.2	76.9



## ★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
リスニング	この領域の本校の平均正答率は82.2%で、宇都宮市の平均を6.5ポイント上回る結果であった。 可能な限り多くのクラスルームイングリッシュを用いて授業を行うことで、多くの英語を耳にする機会があること、また教科書の音読練習や対話練習といった音声面でもインプットとアウトプット活動を継続して行っていることにより、聞く力が身	引き続きALTとのチームティーチングやJETによる授業において、多くのクラスルームイングリッシュを用いた授業を行う。多くのインプットのチャンスを設定すると同時に、それをアウトプットする場面をたくさん設定していく。 リスニングは他領域とも密接に関係することもあり、後期にはやや高度なリスニング活動にも取り組ませる。
読解問題	この領域の本校の平均正答率は86.2%で、宇都宮市の平均を5.3ポイント上回る結果であった。 ほとんどの生徒に予習の習慣が身に付いており、また、単語練習をする生徒も多く、読み取りのベースとなる語彙力が高いと考えられる。	残念ながら予習を行わず授業に臨んでいる生徒は、定着度が低いように思えるので、引き続き予習を行うことや単語練習を行うことを指導する。 USE-Readのパートを活用し、わからない語句も文脈から意味を類推させる練習をする。
文法・表現・英作文	この領域の本校の平均正答率は71.2%で、宇都宮市の平均を7.7ポイント上回る結果であった。 文法的に正しい英文を作ることが苦手なために、書くことの活動に自信を持ってない生徒が多い。それ以前の日本語の段階から「どのようなことを書きたいのか」考えることに困難を感じる生徒も多い。	音読活動を推奨し、耳からのインプットを行わせる。 対話活動においては、伝えたいことを積極的に表現しようとする態度を賞賛するとともに、インプットした英語をアウトプットの道具として使う場面を多く設定する。 英作文の指導においては、ALTの協力を得ながら個別の添削指導を行うとともに、全体的なミスはその都度全体に返し、文法の定着を図る。